



北海道方面

地方費道路工事續出

札幌土木事務所では七月十七日付を以て左記工事の公入札を行ふ旨發表し請負希望者は續々設計書等の閲覽や工事現場の下見に駆け走いて居る由で就中主なるものを舉ぐれば一、札幌より俱知安に至る喜茂別村地内地方費道路工事。二、同準地方費道路黒橋工事。三、準地方費道江差岩内線西島牧村床丹橋外三橋工事。四、豊平町大宇平岸高橋復舊工事。五、準地方費札幌留萌線厚田

地方通信

村字安頼地内大澤橋等をはじめ小災害復舊の工事は尙續出する模様である。

石狩上白石橋開通式

石狩支廳管内白石村と札幌市とを連繫する白石石橋は豊平河上に壯麗なる威容を出現したので同橋の袂で花々しく通り初の式が舉行された。先づ白石神社の社掌が嚴かに畏まりて拍手祝詞等奉仕の後佐藤官選村長、直原上白石土地組合代表、高齢者武田清學氏夫妻、守屋石狩支廳長、橋本札幌市長、代津田土木課長、武居札幌鐵道局長代改良課相見庶務係長、管内町村長代表井山札幌

村長等順次玉串を奉奠し次で式辭、工事報告、祝辭等ありて渡り初は高齢者武田清學(七十九)夫妻が先頭に午後一時卒出度終了し夫より札幌並に夕張舞妓連の餘興出演等あり景氣も立直つたやうな賑ひであつた。

東北方面

鹽釜松島遊覽道路

鹽釜松島間の遊覽道路開鑿問題は財政の緊縮に祟られて當分實現薄となつたので鹽釜町漁業組合が主となり義憤的に作業に従事し女郎山梅の宮高臺から東海岸各所「釜の口」迄の散策道路は既に大分部竣成したので之を見た松島側でもまた雄島洞から霞浦、雁金森、扇ヶ浜まで自由交通路の企てなし是亦八九分竣工したが此附近は海に沿ふた翠松叢生地で千賀ノ浦を一眸に集め、四季夫れ々の風色頗勝の地で、七浦めぐりと鹽釜連絡は縣でも濶れて幅員四間に擴築方を計畫して居つたのであるが右兩町漁

業組合の義憤勞仕により下ごしらへは無一文で出来たのを何よりとし將來勞仕出勤ある箇所に対しては特に材料費工事費等を振替補授するに決した。

神取渡橋竣成す

桃生郡中津山村水上川神取渡船場架橋工事は地元中津山村を筆頭に關係町村民は死物狂ひの活動を續け地方財界沈衰の極にありながら一萬圓前後の醸出をなして縣工事の促進に資しまた附近町村經濟を援助せしむる爲め廢橋に歸した米谷船橋の無償拂下げをなし着々地方經濟の哺育に盡力中であるが神取橋も見事に完成し去る十五日より通行を許されたが昔から不便な渡船に困つて居つたのが茲に面目一新し附近町村民は非常に歡喜して居る。

北越方面

長岡の道路舗装

上越線「群馬縣水上より新潟縣湯澤驛」連絡完成を記念するため長岡市に全通祝賀博覽會開催を期し、同市樞要通路約二千坪を舗装することになり日本石油會社道路部請負の下にワーレナイトビチュリソツク二吋の舗装を施工しつゝあるが上越全通博は本月二十日開會の筈なれば少くも十日前後迄に竣工の豫定である。

常盤橋工事の進捗

南蒲原郡三條町の關門に美觀を添ふる大町一ノ町先五十嵐川に架設中の常盤橋は同町羽幸組の手にて晝夜兼行工事を進めつゝあるが既に鐵筋混凝土の橋柱も出来大部分鋼桁も架渡され上部工も大半進捗したので出水期以前に開通を見るに至るであらう。

關東方面

三國橋開通式賑ふ

茨城縣猿島郡古河町——埼玉縣北埼玉郡

川邊村間——府縣道古河加須線三國橋は昭和四年十二月十九日起工以來約一年半の日子を費し此程竣工したので第四節句の七月七日午前十一時より同橋古河側に於て芽出度き開通式は舉行された。渡良瀬川の急流に賃取船橋で久しい間不便を感じて居た茨城埼玉兩縣及び栃木群馬の附近住民は非常の喜びで集まつた。參拾七萬餘圓の工費も其の爲め群馬縣二萬圓、地元古河町二萬圓、栃木縣四萬圓、東武鐵道會社七萬圓、埼玉七萬八千圓、茨城縣十四萬二千五百圓といふ負擔割になつて居る。茨城縣の牛島前知事が式辭を朗讀する筈の處突如朝鮮に榮轉して田中新知事は明八日着任の豫定内務部長は病床に在りといふ都合で岩崎土木課長の任務愈々重きを加へ堀田群馬縣知事も千葉縣に榮轉して平田新知事も明八日着任の都合ゆへ天谷勅待と中村土木課長が堀越道路主事と、栃木縣からは淺利知事が川越土木課長と荒直道路主事を、埼玉縣からは山中知事が西土木課長と仁田道路主事を、東京

からは先づ七萬圓寄附の根津嘉一郎氏、内務大臣秘書官野中徹也氏、道路改良會長代都筑通督幹事、東京土木出張所阿部清純技師、衆議院議員出井兵吉氏等をはじめ四縣選出貴衆兩院議員及び縣會議員雲の如く集まり渡良瀬橋畔に談論風發の大賑ひを現出し祝賀飛行機の爆音と甲乙無き奇觀まことに珍景であつた。式は別格官幣社常盤神社宮司の率ゐる神官と谷口茨城縣道路主事によりて嚴肅に最も都合好く執行され次で渡り初めは古河町長夫妻並に川邊村長夫妻が手を携へて往還し山中埼玉縣知事の關係四縣交通連絡完成萬歳の發聲に五萬餘の參集相和し午後二時半古河協賛會主催の祝宴に移り古河町美形の舞踊等あり盛會裡に同三時半散會した。

兩國橋の架替工事

日本橋區濱町河岸より本所區回向院側に架換中の兩國橋工事遅延問題は其の後調査の結果、該橋の設計は舊橋脚再用設計を基

本としたもので責任問題を詮索する場合は既成設計關係者其他に累を及ぼすことになりそうであると云ふので橋梁課では多少の非難を受くるも鋭意工事の進捗を圖ることとなり今月中に問題の橋脚工事全部を完了し愈々橋臺工事に着手すれば夏季中夜間作業を行つても本年一杯に竣工せしむべく意氣込むで居る。

東 海 方 面

名古屋足助線開通式

五萬餘圓で改築した府縣道名古屋足助線日進村地内二千間の工事が出来上つたので六月三十日午前十時から愛知郡日進村小學校で盛大な開通式が舉行された、當日は香坂知事を始め宮島土木部長、野田縣會議長、西脇代議士等臨席し餘語協賛會長の案内で休憩場に入り山田經理課長の發議で經費節約の爲め名古屋舉母線、筋生名古屋線の道路改修、岩作鳴海線一部移管の祝賀をも兼

ね行ふに決して、開式型の如く香坂知事の告辭、仲本道路課長の工事報告、道路改良會長の祝電披露等ありて午後三時終了したが、便を享くることになつた範圍が廣いで當日は深更までも人出多く頗る賑つた。

一宮道路擴築さる

交通量近時激増の爲め現在の四間道路では狹隘となつたので十二間幅に擴築することになつた一宮市大通り（東一宮驛西より公園に至る）の地上物件取除けは此の程全部解決したので九月までには悉く地上障害が取除かれ直ちに道路の側溝に着手し人道車道と別々に區分され、また日本の街路樹として西歐人から喜ばれる銀杏樹を植栽されることになつたから完成の醜は全一宮市の最も美しい道路となる譯である。

近 畿 方 面

京阪國道改築工事

京都府では二號國道改築につき其の上部鋪裝方法を左記の如く改變するに決した、即ち車道鋪裝は最初シートアスファルトで施工の豫定であつたが將來同地方は京都市に合併されることになつて居る爲め地下埋設物工事に掘起される關係上プロックを以て鋪裝し工作、埋設、修理等を容易ならしむる事とし、同時に歩道もコンクリートプロックに変更し永久性あるものに改めることになつた、之れに依つて約十餘萬圓の節約ともなり、一舉兩得の策であると言はれて居る。

高宮橋愈々改築

國道十四號線（滋賀縣犬上郡高宮地内）高宮橋は豫れてより改築計畫中の處、愈々當局の施工認可を得たので近く着工の筈である現在までは木橋であつて毎年修理に通はれ勝ちなりし爲め新計畫では全部鐵筋混凝土とし橋長六十四間、有効幅員も三間半とし橋脚は二個の井筒を沈下して基礎とし

橋面は瀝青塊鋪裝とし工費約八萬圓の豫定で右岸取付道路の改築延長四十間餘、左岸修築延長二百三十五間餘である。

中國方面

大松江建設の道路網

日本海一の水都として一方また島根縣是として大松江の建設は遊覽者誘引上忽緒に付すべからず殊に朝鮮方面との來往も距離短き爲め諸物資激増し之れが運輸に對しても舊來の道路にては甚だ不利不便を感じるに至りたるを以て新進の文化を受入れ古代盛時の再現を期せんとし道路交通網の整備調査を進めて居つたが愈々沖舟屋より筋違橋線を幅員十二間に、雜賀町北田町線を十間に、寺町津田線、東茶屋町北田町線等八間六分のもの七線、六間半のもの十二線、四間半のもの二線、合計廿線の改築をなすこととなつたが、此の總延長は一萬九千二百七十チエン餘、工費及び鋪裝費補償費等

は一千四百七拾七萬五百九十二圓を算し橋梁費一百六十四萬三千四百圓、事務費七十五萬三千八百四十七圓土工費五百三十九萬八千三百七圓餘である。

枕木山へ自動車道路

雲州の靈岳枕木峯へ自動車道路を敷設するプランを樹て大に研究しつ、あつた竹内島根縣土木課長は實地踏査の結果、自動車道敷設に決し本庄村縣道より別所を經由し枕木山地藏堂前まで延長二十六町餘、此分工費四萬圓は地元本庄村が大部分負擔することに成り縣では測量より工事等一切を助成するに決したが之れが完成すれば古來女人禁制の靈峯も水都松江市から自動車で景色を賞しながら一時間餘りで突破するこゝが出来出雲遊覽者も大に増加するであらう。

失業者善導を表彰

平井山口縣知事は同縣宇部小那線改良工

事請負者田中榮次郎の奇篤なる善行を表彰した。右田中組は今回の失業救済道路工事執行につき模範的成果を挙げんとし多方面に意を注ぎ殊に失業労働者に對しては生活必需品の供與或は疾病負傷者の手當等懇ろに失業者善導に盡したことが知事の聞く所となつたからである。

四國方面

吉野川に大吊橋

高知縣長岡郡大杉村津家、葛原兩部落をばさむ吉野川本流に吊橋を架し賃取橋とする計畫は昨年十一月以來縣當局に認可出願中であつたが七月七日愈認可になつた、これによつて架せられる「大杉橋」は長さ六十四間で、吉野太田口線、本山高知線の兩縣道を結んで高須峠に續き大杉村に至るものであるが、現在は此處に橋が無いため甲井、本山方面、大杉立川方面と、高知方面

への連絡には、わざわざ池田線國道の穴内吉野川橋まで、大廻りせねばならず杉までの迂回距離坂路約三里餘も有るので人車共に大困まりして居るのであるが、新橋が出来れば僅かに半里餘りとなり利便此の上も無く假令賃取橋でも受くる利益の方が幾倍にも相當するといふので附近では其の竣成する日の速からむことを祈つて居る、架橋竣成後十二箇年間は賃取橋とし其の以後は無賃とするのでそれ迄は大人二錢、自轉車四錢、人力車五錢、手引荷車十五錢、自轉車自轉車、自動車、荷牛馬車孰れも卅錢で軍人及び小學校生徒は無料とする筈である。

九州方面

球磨川橋竣功

二號國道、熊本縣八代郡太田鄉村と高田村とを聯絡する球磨川橋は起工以來一年半の日子を費して漸く竣功を見るに至つた。

從來不便な舟橋式の賃取橋で僅の出水に際しても直ちに交通は杜絶される状態であつた。橋工事は縣民の永い間の懸案であつた。それ丈に今度の新橋の完成は一日千秋の思ひで待たれたものである。

竣功式は六月四日午前十時より橋上に於て嚴に舉行された。型の通り修祓、降神、神饌、齋主祝詞、玉串奉奠の儀が行はれ、知事の式辭、土木課長の工事報告、渡橋式協賛會長、關係町村長の祝詞、祝電の披露があつて、二組の三夫婦を先頭に盛大な渡初めが行はれた。來賓數百名に及び、戸毎に國旗が繰り、夜に入つて提灯行列が行はれる等當地稀に見る賑ひであつた。

本橋の架設に依つて地方の産業交通上に及ぼす利益は甚大なものであるが將來球磨川の改修と相俟つて洪水敷の殘部架橋が完成されたならば其の影響は更に大なるものがあらう。その一日も早からん事を望むものである。

工事概要は次の通りである。

一 架橋地點 二號國道線中熊本縣八代郡

太田郷村高田村地内

一 下部構造

(イ)橋脚 二基 鐵筋混凝土井筒基礎

長一五・〇米

(ロ)橋臺 二基 鐵筋混凝土井筒基礎

長右岸橋臺 一〇・〇米

右岸橋臺 七・〇米

一 上部構造

(イ)全橋長 一八二・四七米

(ロ)有効幅員 七・二五〃

(ハ)橋型式 下路式ワイレントラス

(ニ)徑間連數 六〇・〇米 三連

(ホ)鋼材連數 四八四・四七二連

一 橋面構造 異形鐵筋混凝土床版

一 高欄 鑄鐵及瓦斯管 二四・九六二連

一 照明 親柱 六〇ワット 四個

中間電燈 六〇〃 一八個

一 橋梁前後取付道路

延 長 二七八・二一米

一 設計荷重 内務省設計準則第二種荷重

地震加速度

二、〇〇〇耗毎秒毎秒

一 工事期間 昭和四年八月二十一日起工

昭和六年五月三十一日竣工

一 工事費

下部工事 八六、五六八・七八

上部工事 一一〇、九五五・五四

(口繪寫眞参照)

熊本の街路舗装

熊本平野の大演習に先ち街路整頓に關し種々研究中のところコルターベースを基礎とし表装はシートアスファルトを以て舗装するに決し密郡一流の舗装業者に公入札の結果左の如く大倉土木會社に決定し。

六萬八千八百五十圓 大倉土木

六萬九千二百圓 日本石油

六萬九千四百圓 淺野物産

近古兩體の千歲橋

木造と鐵筋混凝土の兩様式で晰の種とな

つて居た福岡佐賀兩縣界筑後川の千歲橋は七月二十日午後十一時大音響と共に百米突餘流失して交通全く吐絶した。前日來の豪雨で増水しては居たが斯く大なる災害を惹起しやうとは想像しなかつたのである。併かし流石に混凝土の部分には障害なく木造の部が流失したのであるが。久留米市より佐賀縣三養基郡旭村に通ずる幹線が吐絶したので非常な不便を感じ渡船を以て僅かに交通して居る。同橋は長さ二百十米であるが其の半分は鐵筋混凝土で稍近世式の形態を成して居るも残半は前世紀末流行の歌麻呂式板橋で頗る奇觀の一名物とされて居たものである。幸か不幸か今回の災害で愈々近世式混凝土橋に統一施工され福岡佐賀兩縣交通の傾調な發造を見るに至るであらう。